

## 御坊市役所第2次地球温暖化対策実行計画の取り組み状況について

御坊市役所第2次地球温暖化対策実行計画については、市役所も消費者や事業者の一つであるという立場から、平成22年8月に計画を策定し、地球温暖化の防止に向けた取り組みを行っています。

このたび、10ヶ年計画の後期の3年目となる平成30年度の実施結果がまとまりましたので、お知らせします。

### <温室効果ガス総排出量の削減目標>

本実行計画の温室効果ガス（温室効果をもたらす大気中に拡散された気体のこと）総排出量の削減目標は、令和2年度までに基準年度の平成22年度より**7%削減**させることです。

### <平成30年度の取組結果について>

計画に基づき、市の事務事業の実施にあたり、市役所全体で温室効果ガスの主な排出要因である電気及び燃料使用量などの削減に取り組んできました。

平成30年度の温室効果ガス総排出量は、2,338,344kg-CO<sub>2</sub>で基準年度の平成22年度と比較すると、34,750kg-CO<sub>2</sub>（1.5%）の増加となりました。

平成30年度の温室効果ガス総排出量のうち、電気使用量が85.9%と大部分を占めており、使用量自体は基準年度より減少していますが、排出係数※を基準年度（平成22年度）当初の0.355kg-CO<sub>2</sub>/kWhから0.481kg-CO<sub>2</sub>/kWh（平成29年度実績）に改定したため、温室効果ガス総排出量が増加する結果となりました。

\* 温室効果ガスの総排出量（基準年度との比較）

項目	平成22年度	平成30年度
温室効果ガス総排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	2,303,594	2,338,344
うち電気使用量に係る温室効果ガス総排出量	1,980,496	2,008,173
電気の使用量 (kWh)	5,578,863	4,804,241
温室効果ガス総排出量削減率 (H22年度比)	—	▲1.5%

※排出係数とは・・・

使用したエネルギーから温室効果ガスを算定するために用いる係数（原単位）で、発電に用いた燃料によって異なり、特に火力発電の場合、排出係数は高くなる。平成30年度は、関西電力（株）の平成29年度実績に基づく排出係数（0.418kg-CO<sub>2</sub>/kWh）を採用している。

### <今後の取組みについて>

本実行計画の8年目となる平成30年度は、クールビズや節電、燃料の削減など市役所全体で地球温暖化対策に取り組みましたが、電気使用量に係る排出係数が改定されたため、平成22年度比で1.5%の増加となり、あと一歩のところまで目標を達成できませんでした。

計画の当初と比較すると、灯油、プロパンガス、電気の使用量は大幅に削減できており、職員の意識は高まりつつあると思われませんが、ガソリンについては自動車走行量が減少しているにもかかわらず、使用量が増えていることから、エコドライブの徹底が望まれます。

また、電気については、東日本大震災等により電力を取り巻く状況が変わったため、基準年度ベースでの削減が難しい状況となっていますが、少しでも目標に近づけるよう、職員一人ひとりが努力するとともに、平成30年度以降も市役所全体で地球温暖化対策に引き続き取り組んでいきます。